

平成2年度（平成2年3月1日から 平成3年2月28日まで）事業計画

I. 会 議

会 議 名	開 催 回 数	開 催 月 (予定)	議 案
通 常 総 会	1	4 月	平成元年度事業報告, 収支決算, 財産目録 平成2年度事業計画, 収支予算, 理事, 監事, 評議員選挙等
評 議 員 会	1	3 年 2 月	平成2年度事業報告, 収支決算, 財産目録 平成3年度事業計画, 収支予算, 次期役員候補 推薦
理 事 会	8	4 月 (2 回), 6 月, 7 月, 9 月, 11 月, 12 月, 3 年 2 月	月次事業報告, 会計報告, 緊急事業計画委員会 設置, 評議員会, 総会提出議案の決定, 表彰者 決定等
編 集 委 員 会			
運 営 委 員 会	6	4 月, 7 月, 9 月, 11 月, 3 年 1 月, 2 月 (東京)	会誌編集方針の決定, 講演大会方針の決定, 依 論文賞の選考, 編集委員構成検討
和文会誌分科会	11	8 月を除く毎月1回 (東京)	「鉄と鋼」の編集
欧文会誌分科会	11	8 月を除く毎月1回 (東京)	「ISIJ International」の編集
講演大会分科会	6	隔月 (東京)	講演大会, 討論会の企画, 実施, 「材料とプロセ ス」の編集
MP 専門委員会	6	隔月 (東京)	講演大会の企画・運営, 会誌掲載記事の検討, シンポジウムの企画
企 画 委 員 会	8	4 月, 6 月, 7 月, 9 月, 11 月, 12 月, 3 年 1 月, 2 月 (東京)	事業計画, 定款諸規程の変更立案, 予算決定等
会 計 分 科 会	7	3 月, 6 月, 9 月, 11 月, 12 月, 3 年 1 月, 2 月 (東京)	予算決算, 補助金の処置
表彰奨励推薦 分科会	3	4 月, 7 月, 11 月	他の学協会からの依頼による表彰奨励の推薦
研 究 委 員 会	6	隔月	本会の研究業務の計画立案遂行と講習会講演会 の企画等
技術講座 小委員会	6	隔月 (東京)	西山記念技術講座, 白石記念講座の企画, 実施
鉄鋼工学セミナ ー委員会	6	5 月, 6 月, 9 月, 11 月, 3 年 1 月, 2 月 (東京)	第16回セミナーの実施, 第17回セミナーの企画
研究企画 小委員会	5	3 月, 5 月, 7 月, 10 月, 12 月	研究に関する企画立案
研究テーマ 小委員会	2	9 月, 3 年 1 月 (東京)	主要技術課題の募集・整理・公開, 研究テーマの公募・整理選定・公開
海洋材料 小委員会	3	3 月, 6 月, 9 月 (東京)	海洋材料開発に関する調査・情報交換
非磁性鋼調査 研究小委員会	2	4 月, 6 月	非磁性鋼の材料特性の調査研究, 研究報告書作 成
ベイナイト調査 研究小委員会	4	4 月, 7 月, 10 月, 3 年 1 月	ベイナイト組織の判定方法と組織の命名の統一 化
国 際 交 流 委 員 会	2 以上	随時	国際交流活動の企画立案ならびに推進
図 書 出 版 委 員 会	4	随時	図書の企画, 刊行, 在庫管理
特別資金運営委員会	1	3 年 1 月	特別資金ならびに支出審議
一般表彰選考委員会	2	8 月, 3 年 1 月	協会的一般表彰各賞候補選定
次期役員・名誉会員 候補選考委員会	1	3 年 1 月	協会役員候補・名誉会員候補選定

II. 刊 行

会誌「鉄と鋼」	12冊 毎月
欧文会誌「ISIJ International」	12冊 毎月
材料とプロセス 特別報告書	6冊 春秋 随時

材料とプロセス	常時
特別報告書その他刊行物	常時
会員名簿, 会員章	常時

III. 分 譲

日本鉄鋼標準試料 会誌 (和文・欧文)	常時 常時
------------------------	----------

IV. 金属技術情報サービス

図書室の公開	常時
国際会議資料の収集強化公開	常時
JICST データベース作成への協力	継続
文献検索オンライン端末機の利用	常時
数値データ集の収集公開	常時

V. 講演大会・講習会・国際交流

名 称	開 催 回 数	開催日 (場所) 予定	テ ー マ・そ の 他
第119回講演大会	1	4月3日, 4日, 5日 (東京工業大学)	
第120回講演大会	1	9月25日, 26日, 27日 (東北大学)	
西山記念技術講座	第134回 第135回 第136回 第137回	5月9日 (東京) 11月7日, 8日 (東京) 平成3年2月 (東京) 平成3年2月 (大阪)	土木・建築材料の現状と将来 21世紀の鉄鋼業 } 保冷技術の進歩と将来
白石記念講座 第16回鉄鋼工学 セミナー	第18回 1	6月13日 (東京) 7月28日~8月3日 (蔵王)	ビーム利用技術の最近の動向
国際会議	1	10月21日~26日 (名古屋・名古屋国際会議場)	The Sixth International Iron and Steel Congress 第6回鉄鋼科学技術国際会議

VI. 委 員 会

委員会・部会名	開 催 回 数	開催月 (場所) 予定	研 究 テ ー マ・そ の 他
共同研究会			
運営委員会	2	6月, 12月 (東京)	共同研究会の運営方針の決定
総務幹事会	2	5月, 11月 (東京)	共同研究会の運営に関する情報交換
製鉄部会	2	5, 6 (新日鉄・君津) 11月 (NKK・京浜)	研究発表 (共通・自由議題)・新設改修報告 "
コークス部会	2	5月 (NKK・福山) 11月 (東ガス)	研究発表 (共通・自由議題), 操業データの交換 "
製鋼部会	2	3月 (神鋼・加古川) 9月 (大同・知多, 愛知・知多)	重点テーマ「溶銑予備処理を含む製鋼スラグの現状」 重点テーマ「未定」
電気炉部会	2	5月 (関特・藤沢) 10月 (東京鉄鋼・八戸)	共通テーマ「製鋼工場とその周辺の自動化, 機械化による作業負荷軽減と省力化について」 共通テーマ「未定」
特殊鋼部会	2	3月 (住金・和歌山, 日ス・和歌山) 9月 (新日鉄・八幡, 住金・小倉)	共通テーマ「ステンレス鋼における溶解, 精錬技術の改善」 共通テーマ「未定」
圧延理論部会	2	3月 (NKK・京浜) 9月 (住重・新居浜)	その都度圧延理論に関する研究発表 "
鋼板部会 分塊分科会	2	5月 (住金・和歌山) 11月 (トーア・仙台)	共通議題「各事業所における分塊の意義・立場 (PartII)」一品質つくり込みにおける分塊工程の役割一 共通議題「未定」
厚板分科会	2	5月 (新日鉄・名古屋) 11月 (NKK・京浜)	「工場操業状況」, 「生産処理能力」 「工場操業状況」, 未定

委員会・部会名	開 回	催 数	開催月（場所）予定	研究テーマ・その他
ホットストリップ分科会	2		6月（NKK・福山） 11月（住金・和歌山）	「要員省力化」 未定
コールドストリップ分科会	2		6月（住金・鹿島） 12月（日新・堺）	「設備新設改造について」 未定
条鋼部会				
大形分科会	2		春（東京） 秋（新日鉄・八幡）	「工場操業状況」 未定
中小形分科会	2		5月（大同・知多）	普通鋼グループ：「製造コストの低減について」 特殊鋼グループ：「圧延ロールの使用方法について」 未定
線材分科会	2		秋（トア・東京，東京鉄鋼） 6月（合同・大阪） 秋（神鋼・神戸）	「寸法精度の現状と保証体制について」 未定
鋼管部会	2		6月（新日鉄・名古屋） 11月（神鋼・長府北，新日鉄・八幡）	未定 未定
継目無鋼管分科会	1		12月（住金・大阪本社）	技術管理，熱間工具，省力化・自動化，鋼管素材等
溶接鋼管分科会	1		12月（新日鉄・東京本社）	未定
熱経済技術部会	2		5月（新日鉄・君津） 11月（川鉄・水島）	「加熱炉の技術動向」 プロセスシミュレーション技術の基礎と応用
計測制御部会	2		4月（新日鉄・大分） 11月（川鉄・千葉）	研究発表 "
品質管理部会	2		6月（NKK・福山） 12月（新日鉄・名古屋）	研究発表（共通議題），アンケート "
機械試験小委員会	2		5月（NKK・京浜） 11月（新日鉄・八幡）	WG報告，研究発表 "
非破壊検査小委員会	2		3月（トア・仙台） 9月（愛知・本社）	WG報告，研究発表 "
亜鉛めっき鋼板部会	2		7月（神鋼・加古川） 3年1月（住金・和歌山）	「前処理，炉設備とその操業について」 未定
運輸部会	1		11月（NKK・福山）	「内航輸送の実態と今後のあり方」
調査部会	1		3年2月（東京）	活動状況報告・討議
鉄鋼分析部会				
化学分析分科会	4		5月（東京） 11月（神鋼・加古川）	研究発表 研究発表
機器分析分科会	2		5月（東京） 11月（神鋼・加古川）	WG報告 WG報告
表面分析小委員会	2		3月（東京） 5月（東京） 11月（神鋼・加古川）	研究発表 " "
析出物分析小委員会	4		春，夏，冬（東京） 秋（関西）	微細析出物の抽出分離法の検討
設備技術部会				
銑鋼設備分科会	2		5月（川鉄・千葉） 12月（住重・新居浜）	研究発表（共通・自由議題），アンケート・設備稼動状況 "
圧延設備分科会	2		春（住金・和歌山） 秋（神鋼）	「冷延プロセスにおける表面品質と設備技術」 「圧延機駆動系の管理」
電気設備分科会	2		春（日新・呉） 秋（新日鉄・大分）	「新制御理論の応用」 「保全実態調査」
耐火物部会	2		6月（新日鉄・八幡） 秋（川鉄・水島）	「鍋用耐火物」 「高炉改修」「不定形耐火物」
原子力部会	1		未定	未定
技術小委員会	1		未定	未定
特許小委員会	1		未定	未定
特定基礎研究会				
運営委員会	2		6月，12月	企画，運営，調査

委員会・部会名	開催回数	開催月 (場所) 予定	研究テーマ・その他
材料電磁プロセス研究部会	3	5月, 10月, 3年2月 (東京)	電・磁界の材料処理への利用に関する基礎検討
鉄鋼材料の相界面・結晶粒界の設計と制御部会	3	3月, 5月, 6月	鉄鋼材料の相界面・結晶粒界の原子構造およびその高温挙動の解析→報告書の編集
応力下における腐食評価部会	4	4月, 7月, 11月, 3年2月	研究報告
構造材料の信頼性評価技術部会	2	9月, 3年2月	研究報告
充填層中の気・固・液移動現象部会	2	6月, 3年1月	研究発表
コークス製造のための石炭乾留制御部会	2	未定	未定
鉄鋼基礎共同研究会			
運営委員会	2	5月, 12月	企画, 運営, 調整
鉄鋼の結晶粒超微細化部会	3	6月, 10月, 3年2月 (東京)	加工熱処理, 急冷凝固, 粉末冶金等の手法による結晶粒超微細化の検討
界面移動現象部会	3	6月, 11月, 3年2月	研究発表, シンポジウム
鉄基複合材料部会	3	4月, 9月, 3年2月	研究発表
変形特性の予測と制御部会	3	6月, 10月, 3年2月	研究報告
標準化委員会	1	5月	各分科会報告の審議と JIS 原案および協会規格の承認
幹事会	4	5月, 7月, 10月, 3年2月	JIS および協会規格作成方針の検討および標準化の諸問題検討
普通鋼分科会	4	4月, 6月, 9月, 11月	JIS の見直しその他普通鋼に関する問題点の審議
特殊鋼分科会	5	3月, 4月, 7月, 10月, 3年2月	JIS の見直し, 特殊鋼規格全般の問題
線材分科会	3	5月, 9月, 12月	JIS の見直し
鋼管分科会	4	5月, 8月, 10月, 3年1月	JIS の見直し, 鋼管規格全般の問題
機械試験方法分科会及び幹事会	8	3月, 4月, 6月, 7月, 8月, 10月, 11月, 12月	機械試験全般の問題および ISO の検討
鋼質判定試験分科会	2	4月, 10月	鋼質判定に関する試験方法の JIS の見直し
SI 単位移行実施小委員会	3	3月, 4月, 6月	PR 資料作成
ISO 鉄鋼部会	2	3月, 12月	SC 各分科会報告の審議, 日本代表者の派遣決定
SC 1 分科会	4	3月, 4月, 10月, 3年2月	ISO/TC17, ISO/TC11/SC1, ISO/TC5, ISO/TC67 及び ISO/TC164 に関する提案事項の検討, 日本コメントの作成, 共同実験等
SC 2 "	1	9月	
SC 3 "	3	4月, 8月, 10月	
SC 4 "	4	3月, 4月, 9月, 12月	
SC 20 "	2	5月, 10月	
SC 7 "	1	8月	
SC 8 "	2	8月, 10月	
SC 9 "	2	3月, 9月	
SC 10 "	2	5月, 10月	
SC 12 "	2	5月, 10月	
SC 16 "	2	4月, 7月	
SC 17 "	1	10月	
SC 18 "	2	5月, 10月	
SC 19 "	5	3月, 6月, 9月, 11月, 3年1月	
TC 5 "	2	5月, 10月	
TC 67 "	4	3月, 6月, 10月, 12月	
TC 164 "	4	4月, 7月, 10月, 12月	
常任分科会	2	5月, 11月	
データシート部会	1	4月	分科会報告の検討, テーマの選定, 企画

委員会・部会名	開催回数	開催月(場所) 予定	研究テーマ・その他
高温引張データシート分科会	1	5月	高温引張特性データの収集, 解析
破壊靱性データシート分科会	2	6月, 12月	破壊靱性データの収集
高温強度研究委員会	1	6月(東京)	成果報告会
VAMAS低サイクル疲労研究部会	3	5月, 9月, 3年2月	VAMAS-LCF ラウンドロビンテスト結果の解析
組織制御と性質研究部会	4	4月, 7月, 10月, 3年1月	鉄鋼の組織制御と性質に関する研究
国際鉄鋼技術委員会	2	6月, 12月	IISI 技術委員会報告, その他
耐熱強靱チタン研究部会	4	5月, 8月, 11月, 3年2月	チタン合金及びチタン系新素材に関する研究
高級ラインパイプ研究部会	2	春, 夏(東京)	研究終了報告書作成
熱プラズマ研究部会	4	春, 夏, 秋, 冬(東京)	イオン・プラズマ利用材料処理の基礎検討
圧延ロール研究部会	2	未定	ロール磨耗, 焼き着き, 新ロール材質の問題点の研究
極低炭素鋼板研究部会	4	春, 夏, 秋, 冬(東京)	希薄合金中の析出反応と材料特性の検討
旧陸海軍鉄鋼技術調査委員会	5	4月, 6月, 9月, 11月, 3年2月	調査整理及び方針決定
鉄鋼標準試料委員会	1	3年2月	標準試料に対する事項
常任委員会	4	4月, 8月, 12月, 3年2月	製造計画, 標準値の決定
鉄鋼技術情報センター運営委員会	4	5月, 8月, 11月, 3年2月	センター情報管理活動
図書資料委員会	未定	未定	センター図書資料
情報検索委員会	未定	未定	情報検索

VII. 特別の会計による事業

1. 特別の資金による事業

- | | |
|---|--|
| 1) 表彰
渡辺義介賞, 西山賞, 服部賞, 香村賞, 渡辺三郎賞, 野呂賞, 渡辺義介記念賞, 西山記念賞の授与
1回 4月
浅田賞, 三島賞, 林賞, 山岡賞, 俵論文賞, 澤村論文賞の授与
1回 9月 | 2) 湯川メモリアルレクチャー並に湯川記念講演会の開催
随時
3) 石原, 浅田研究助成金の交付
1回
4) 日向方斉学術振興交付金
2回
5) 浅田記念文庫の寄贈
1回 |
|---|--|

2. ISO幹事国事業

2.1 会議

1) 国内会議

会議名	開催回数	開催月	場所
ISO運営委員会	3回	9月, 12月, 3年2月	東京
TC 17 諮問部会	4回	4月, 6月, 8月, 12月	東京
		なおWGを随時開催予定	
SC 1 諮問部会	5回	3月, 5月, 9月, 12月, 3年2月	東京

2) 国際会議

①TC17及びTC17/SC1 幹事国主催会議

	開催月	場 所
TC17/EC	6 月	スウェーデン
SC1	5 月	マドリッド

②他SC 幹事国主催会議

	開催月	場 所
SC3	未 定	未 定
SC4	5月～6月	デュッセルドルフ
SC7	3 月	パ リ
SC10	3 月	デュッセルドルフ
SC12	10 月	シドニー
SC16	3 月	オスロ
SC19	5 月	ミラノ
SC20	5 月	ベルリン

2.2 ISO/TC 17 幹事国業務

平成2年度は第7回EC会議を万全の態勢で開催するとともに、その成果をPメンバーに周知徹底させることに重点をおくこととしている。特に Directives の円滑な運用は最重点課題である。

1) ISO 規格案件の処理

平成2年度当初のISO/TC 17で審議中の案件は121件で、2年度中には13件のISO規格、1件のISOテクニカルレポートの成立及び32件のDIS登録が見込まれる。

また5年見直し対象のISO規格は17件、Stage 1で3年停滞の作業項目は4件、Stage 2で5年以上停滞の規格原案は2件あり、前者については規格改正の要否、後2者については規格作成作業の継続の可否が問われる。

2) 第7回EC会議の開催

3. その他特別会計による事業

3.1 日本圧力容器研究会議

委員会・部会名	開 催 回 数	開催月(場所) 予定	研究テーマ・その他
運 営 委 員 会	3	3月, 6月, 12月	企画, 運営, 調整
圧力容器用鋼材 専門委員会	4	未 定	「TMCP 鋼のPWHT 特性」
水素脆化 専門委員会	4	未 定	水素侵食限界(共同研究) 水素脆化(共同研究)
非破壊試験 専門委員会	4	未 定	Round Robin Test 実施と解析

3.2 学生見学会

本会創立70周年記念事業として開始した理工系学生を対象とした、鉄鋼会社の研究所・鉄鋼設備の見学会(第5回)を3月19～23日に11社15会場で行う。

TC17幹事国としてEC会議を下記の要領で開催する。

日時：1990年6月13～15日……2.5日間

場所：スウェーデン・アベスタ

今回のEC会議では下記の議題を取上げISO/TC17の今後の運営について助言を求めることにしている。

- (1) 新 Directives (作業指針) の運用について
- (2) 規格定期見直し時の調査方法の改善について
- (3) TC17における生産性について
- (4) その他

3) TC17/SC2 幹事国の再割当

幹事国インドの辞意表明に伴い Questionnaire をまわして希望国を募っているが、応募国が無い場合は、次回EC会議にて対策を討議する。

4) ISO/TC17 総会開催準備

首記会議の平成3年度、日本における開催計画を作成し、承認を得たのち準備作業を開始する。

2.3 ISO/TC 17/SC 1 幹事国業務

第13回SC1国際会議を成功裡に行うこと、同会議での決議事項のフォローアップ及び年度内に3件のISO規格発行をはかることが平成2年度の重点課題である。

1) 第13回会議の開催

1990年5月21日から25日までスペイン(マドリッド)において開催する。12か国、35名の出席者を予定している。6～8件のWGを解散させ、同数のfinal DPを作成すること、及び新たな9件のWGの発足を第一目標とする。

2) WG 活動支援

継続3～5件と新設9件の計12～14件のWG活動を支援し、1992年開催予定の第14回会議(予定地：英国・ロンドン)の成功に結びつける。

3) ISO 規格発行に関する業務

年度内に3件のISO規格の発行をはかる。